

資料編

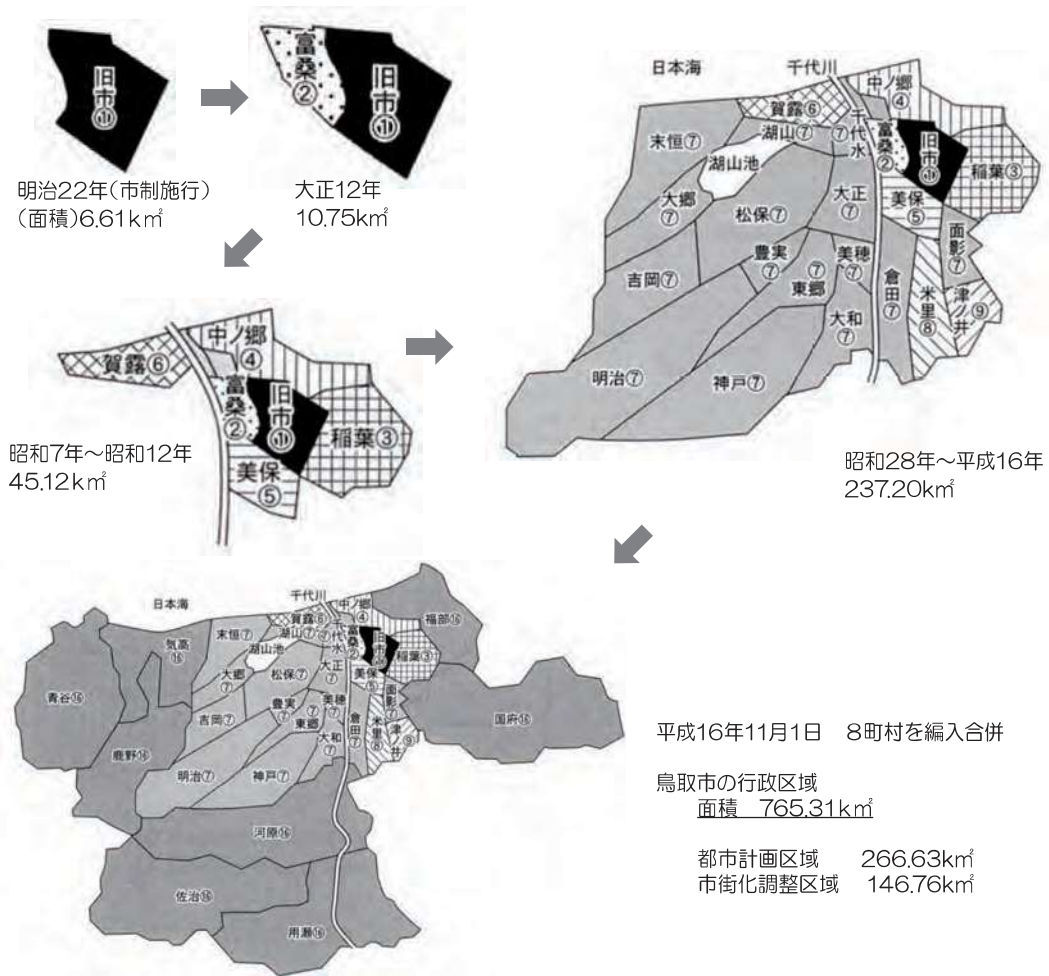
鳥取市の現況

(1) 鳥取市のあゆみ

① 鳥取市の主な出来事

時代	年号	西暦	主なできごと
明治	22	1889	鳥取市制施行
	40	1907	仁風閣建築(皇太子を迎える)
	45	1912	山陰鉄道 京都～出雲間(現在の山陰本線)全通
大正	10	1921	鳥取高等農業学校(現在の鳥取大学)開校
	14	1925	駅前に温泉湧出
昭和	18	1943	鳥取大地震(M.7.2 死者1,025人)
	27	1952	鳥取大火災(焼失面積1.6km ²)
	28	1953	15村合併により鳥取市の行政基盤固まる(人口63千人から99千人へ)
	38	1963	鳥取砂丘が国立公園に指定、釧路市と姉妹都市提携(10月4日)
	39	1964	市庁舎完成(鳥取市尚徳町)
	42	1967	鳥取空港完成
	47	1972	姫路市と姉妹都市提携(3月8日)
	53	1978	鳥取駅高架化完成
	63	1988	人口14万人突破(7月23日)
	平成	元	1989
2		1990	韓国・清州市と姉妹都市提携(8月30日)、鳥取港全面供用開始
7		1995	市立病院の新築移転、岩国市と姉妹都市提携(10月13日)
12		2000	人口15万人突破(10月1日国勢調査)
13		2001	鳥取環境大学開学(4月1日)、ドイツ・ハーナウ市と姉妹都市提携(11月20日)
16		2004	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町及び青谷町を編入合併(11月1日)
//		//	人口20万人突破(11月1日)
17		2005	特例市*に移行
//		//	鳥取市の木「サザンカ」・花「らっきょうの花」・市民歌を制定(11月1日)
//		//	郡山市と姉妹都市提携(11月25日)
20		2008	鳥取市自治基本条例*制定
22		2010	鳥取自動車道「河原IC～鳥取IC」開通(3月)
//		//	山陰海岸ジオパーク*が「世界ジオパークネットワーク」に加盟(10月)
25		2013	鳥取自動車道全線開通(3月)、山陰道鳥取西道路「鳥取IC～鳥取西IC」開通(12月)
27		2015	鳥取市医療看護専門学校開学(4月)
30	2018	中核市*鳥取市誕生(4月1日)	
//	//	日本遺産*「北前船寄港地」に鳥取市賀露地区、青谷地区が追加認定(5月)	
令和	元	2019	麒麟のまち圏域*(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町)によるストーリーが、日本遺産*に認定(5月)
	//	//	鳥取西道路全線開通(5月)
	//	//	市役所本庁舎新築移転(鳥取市幸町)(11月5日)
	2	2020	新型コロナウイルス感染症が広がり市民生活へも甚大な影響
	//	//	鳥取市保健所が駅南庁舎に移転(5月)
	5	2023	新可燃物処理施設「リンピアいなば」供用開始(4月)
	//	//	台風7号により南部地域を中心に、家屋、道路、農作物等へ甚大な被害(8月)

② 地域の変遷

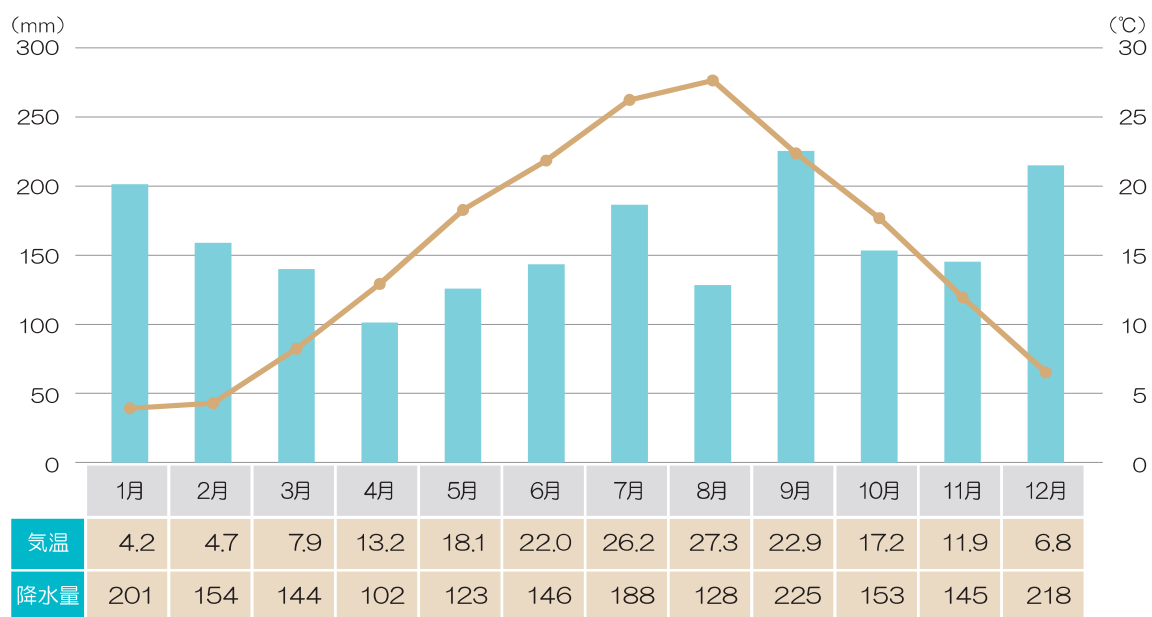


番号	年月日	面積(km ²)	備考
①	明治22.10.1	6.61	市制施行
②	大正12.5.10	10.75	富桑村編入
③	昭和7.4.1	21.82	稲葉村編入
④	// 8.4.1	34.82	中ノ郷村編入
⑤	// 8.10.1	40.11	美保村編入
⑥	// 12.2.15	45.12	賀露村編入
⑦	// 28.7.1	219.44	神戸村、大和村、美穂村、大正村、東郷村、豊実村、明治村、吉岡村、大郷村、末恒村、湖山村、松保村、千代水村、面影村、倉田村編入
⑧	// 30.7.20	227.39	米里村編入
⑨	// 38.4.22	237.25	津ノ井村編入
⑩	// 51.12.1	237.29	河原町と境界変更
⑪	// 59.11.1	237.28	国府町と境界変更
⑫	平成元.11.10	237.01	官報公告により面積値修正(国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」)
⑬	// 2.7.27	237.06	公有水面埋立
⑭	// 2.11.2	237.09	公有水面埋立
⑮	// 9.7.1	237.20	公有水面埋立
⑯	// 16.11.1	765.66	国府町、福部村、河原町、用瀬町、佐治村、気高町、鹿野町、青谷町編入
⑰	// 27.3.6	765.31	官報公告により面積値修正(国土地理院「全国都道府県市町村別面積調」)

(2) 気象

気候は、日本海型気候に属し、四季のうつろいが実感できる比較的温暖な気候となっています。

鳥取市の気温と降水量



■ 降水量(mm) ● 気温(°C)

出典：鳥取地方気象台(1991年～2020年の平年値)

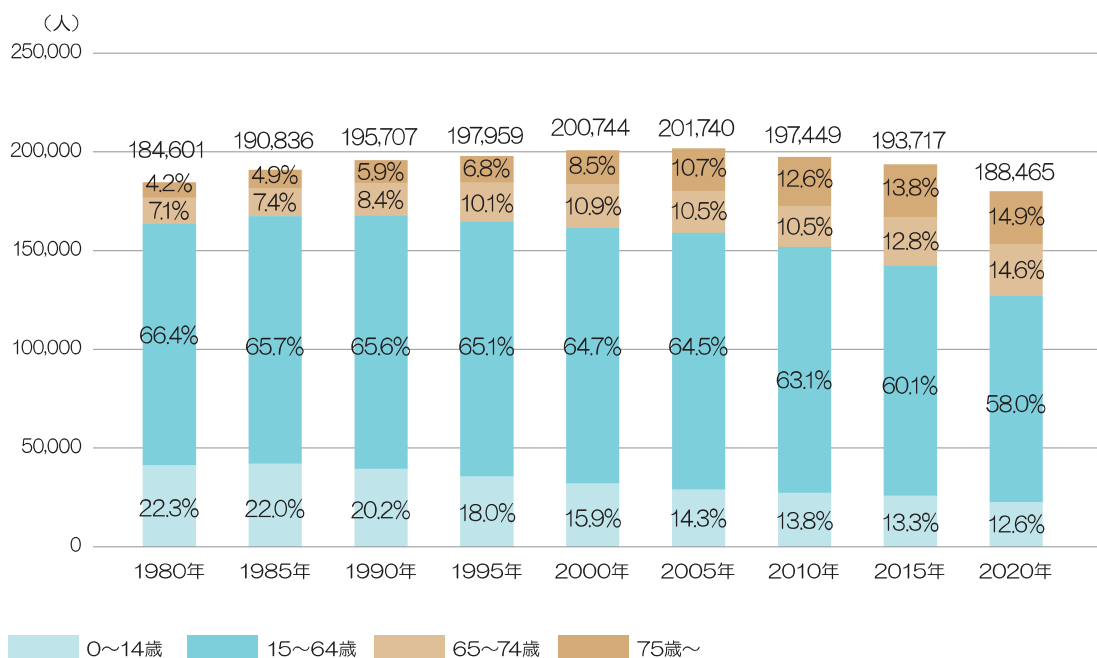
(3) 鳥取市の人口

① 総人口

本市の人口は、平成17(2005)年の国勢調査時の201,740人をピークに減少傾向にあり、令和2(2020)年の国勢調査では188,465人となりました。

また、人口の年齢構成をみると、昭和55(1980)年以降の年少人口(14歳以下)は昭和60(1985)年をピークに減少し続けています。また、生産年齢人口(15~64歳)も平成17(2005)年をピークに減少傾向にあり、令和2(2020)年の構成比は58.0%となっています。一方で、老年人口(65歳以上)は昭和55(1980)年以降増加し続けており、令和2(2020)年の構成比は29.5%となっています。

年齢4区分別の人口の推移



(単位: 人)

区分	昭和55 (1980)年	昭和60 (1985)年	平成2 (1990)年	平成7 (1995)年	平成12 (2000)年	平成17 (2005)年	平成22 (2010)年	平成27 (2015)年	令和2 (2020)年
65歳以上	20,776	23,415	27,896	33,493	38,916	42,651	45,778	51,547	55,500
75歳以上	7,673	9,305	11,480	13,534	16,987	21,511	25,013	26,814	28,042
65~74歳	13,103	14,110	16,416	19,959	21,929	21,140	20,765	24,733	27,458
15~64歳	122,609	125,413	128,375	128,773	129,833	130,141	124,586	116,397	109,224
0~14歳	41,216	42,008	39,436	35,693	31,995	28,948	27,085	25,773	23,741
合計	184,601	190,836	195,707	197,959	200,744	201,740	197,449	193,717	188,465

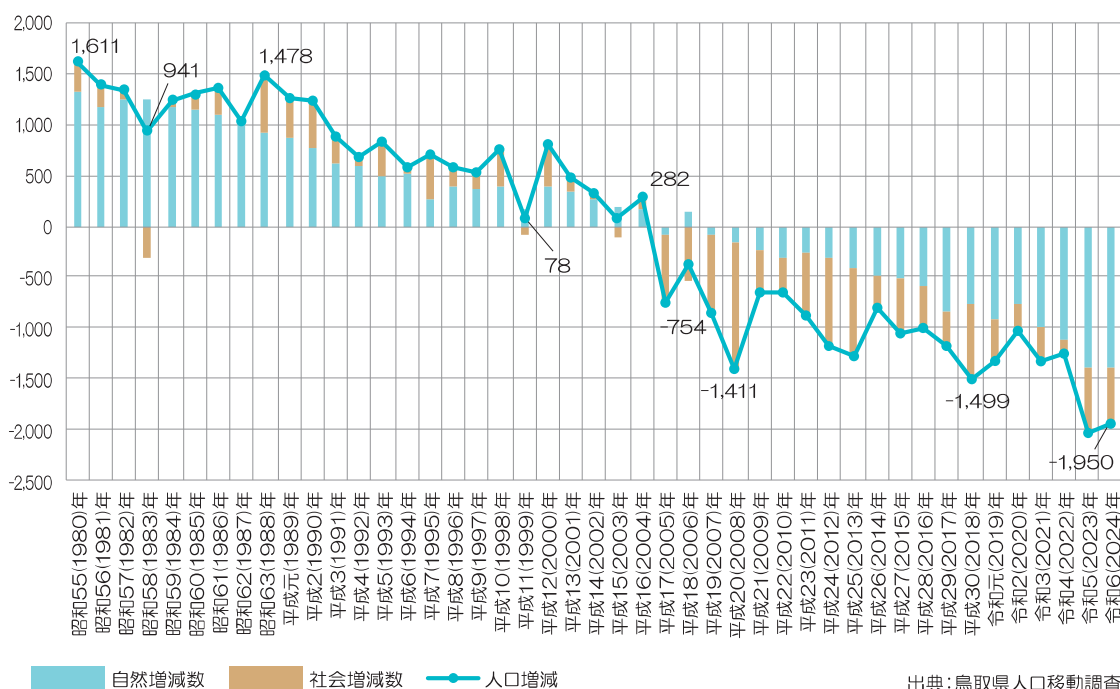
出典: 国勢調査

②自然動態*・社会動態*の推移

本市では、1990年代から2000年代前半にかけて人口増加が続いていましたが、平成17(2005)年以降は、年によってばらつきがあるものの、おおむね500人～2,000人程度の人口減少となっています。

自然動態*をみると、平成16(2004)年までは、出生数が死亡数を上回る自然増の状況でしたが、平成19(2007)年以降は自然減の状況が拡大しています。また社会動態*をみると、平成16(2004)年までは、昭和58(1983)、平成11(1999)年、平成15(2003)年を除いて転入者数が転出者数を上回る社会増の状況でしたが、平成17(2005)年以降は社会減に転じています。

自然増減数・社会増減数の推移



出典：鳥取県人口移動調査

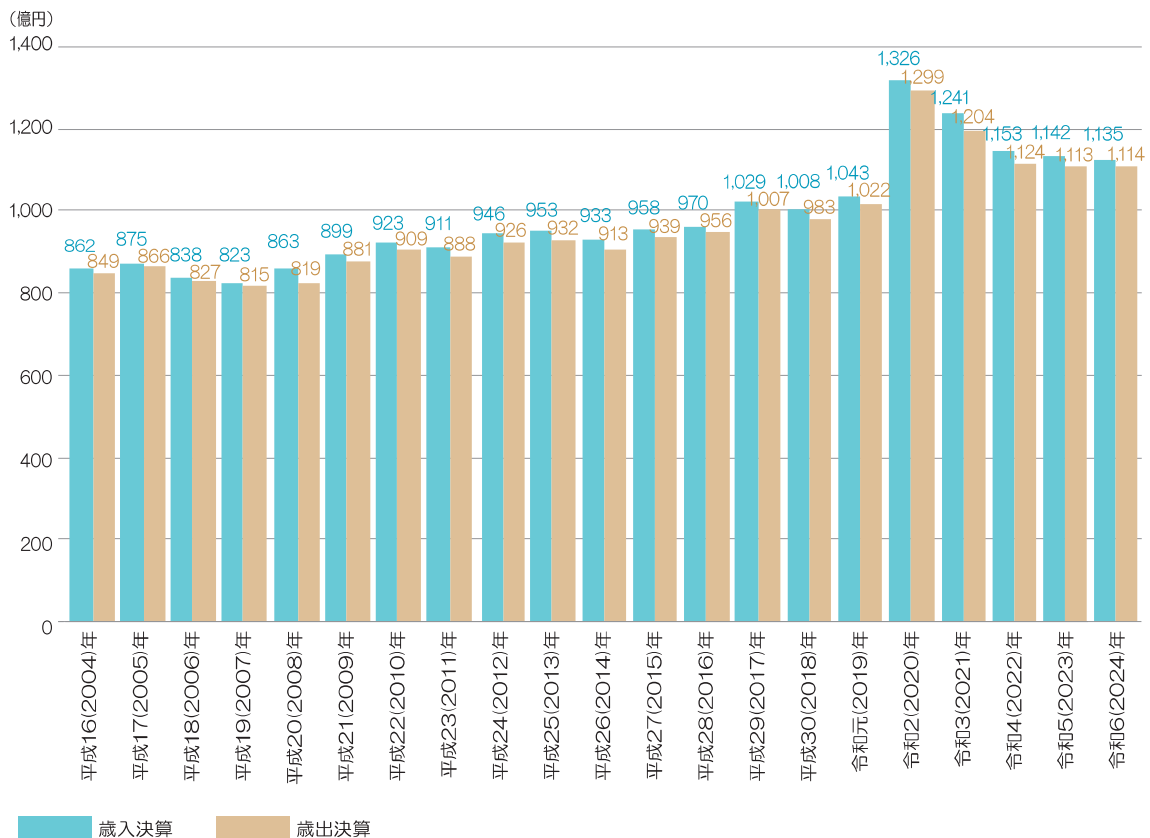
(4) 鳥取市の財政状況

平成16(2004)年度の市町村合併後、合併算定替*による普通交付税*の段階的減少を見据え、投資的経費*の抑制などにより、一般会計ベースの歳出決算額を800億円台前半に抑えてきました。

しかし、平成20(2008)年秋のリーマンショック*による景気低迷や長引くデフレへの対応として、国の緊急経済対策を活用し、地域経済の活性化と雇用創出に重点的に取り組んだ結果、財政規模は900億円前後に拡大し、学校施設の耐震化などの大規模事業を推進したことにより、平成29(2017)年度には歳入・歳出決算額ともに1,000億円を超えました。

平成30(2018)年度は中核市*移行、令和元(2019)年度は新本庁舎整備・新可燃物処理施設整備などにより、歳入・歳出規模は1,000億円前後を推移し、令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症対策として、特別定額給付金や制度融資をはじめとした緊急経済対策を実施したことにより、歳入・歳出規模が一時的に急拡大しました。その後、令和5(2023)年度に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことなどにより、歳入・歳出規模は減少していますが、コロナ禍による影響を除けば、近年の物価高騰、社会保障費の増加などにより歳入・歳出規模は増加傾向にあります。

歳入・歳出決算額の推移(一般会計)



(5)類似自治体との比較

本市の現状を分野別に他都市と比較し、特性を把握するため、以下の20指標について集計を行いました。

分野	指標名	単位	鳥取市	類似自治体平均	鳥取市偏差値
基礎指標	①社会増減率	%	-0.37	-0.23	44.1
	②単独世帯割合※	%	35.1	36.9	57.1
	③財政力指数*	-	0.52	0.67	38.1
都市のにぎわい	④商業地平均地価	円/m ²	63,400	94,840	39.8
	⑤人口10万人当たり百貨店、総合スーパー事業所数	店	2.2	1.2	67.7
	⑥人口千人当たり年間商品販売額（卸売業、小売業）	百万円	2,435.1	3,305.6	41.9
教育・文化	⑦人口10万人当たり公民館数	館	33.4	10.7	75.9
	⑧人口10万人当たり図書館数	館	2.1	1.9	52.2
生活環境	⑨1住宅当たり延べ面積	m ²	108.54	101.37	57.4
	⑩人口10万人当たり交通事故発生件数※	件	105.1	215.9	63.5
	⑪人口10万人当たり刑法犯認知件数※	件	392.3	459.2	55.1
	⑫人口1人当たりゴミ総排出量※	kg	354.0	362.2	53.5
産業	⑬人口千人当たり農業産出額	千円	7,488.3	4,894.6	60.4
	⑭新設事業所割合	%	0.237	0.221	57.4
	⑮労働力人口比率	%	0.495	0.492	51.8
	⑯納税義務者1人当たり課税対象所得	千円	2,891.3	3,169.6	38.8
医療・福祉	⑰人口千人当たり医師数	人	3.0	3.4	45.2
	⑱人口10万人当たり病院数・一般診療所数	施設	89.7	100.4	40.6
	⑲高齢者千人当たり介護老人福祉施設数	施設	0.29	0.23	57.9
	⑳要支援・要介護の認定率※	%	0.194	0.190	47.4

※印の項目は、値が小さい方がよい指標として整理している。

※類似自治体＝人口30万人未満の中核市*（ただし、三大都市圏（東京圏、大阪圏、名古屋圏）を除く）：函館市、青森市、秋田市、八戸市、盛岡市、山形市、福島市、水戸市、福井市、甲府市、松本市、松江市、呉市、下関市、久留米市、佐世保市

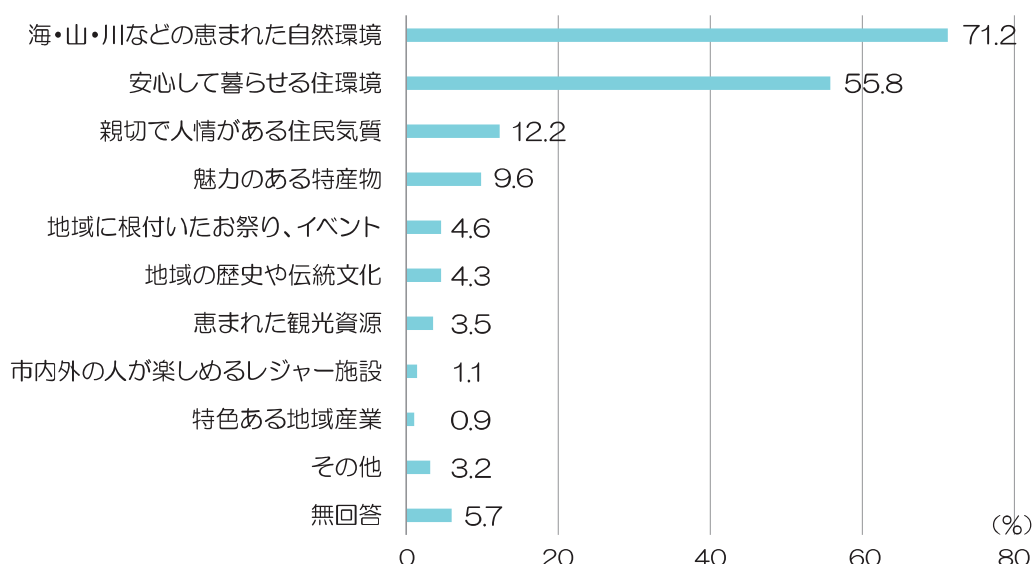
(6)市民からみたこのまち

令和6(2024)年度に「鳥取市民まちづくりアンケート調査*」を実施しました。市民から見た「鳥取市について誇りに思うこと」「地域の住みやすさの満足度」「まちづくりの重要度」は以下のとおりです。

①鳥取市について誇りに思うこと

「鳥取市について誇りに思うこと」について尋ねたところ、「海・山・川などの恵まれた自然環境」が71.2%と最も多く、次いで「安心して暮らせる住環境」55.8%の順となっています。

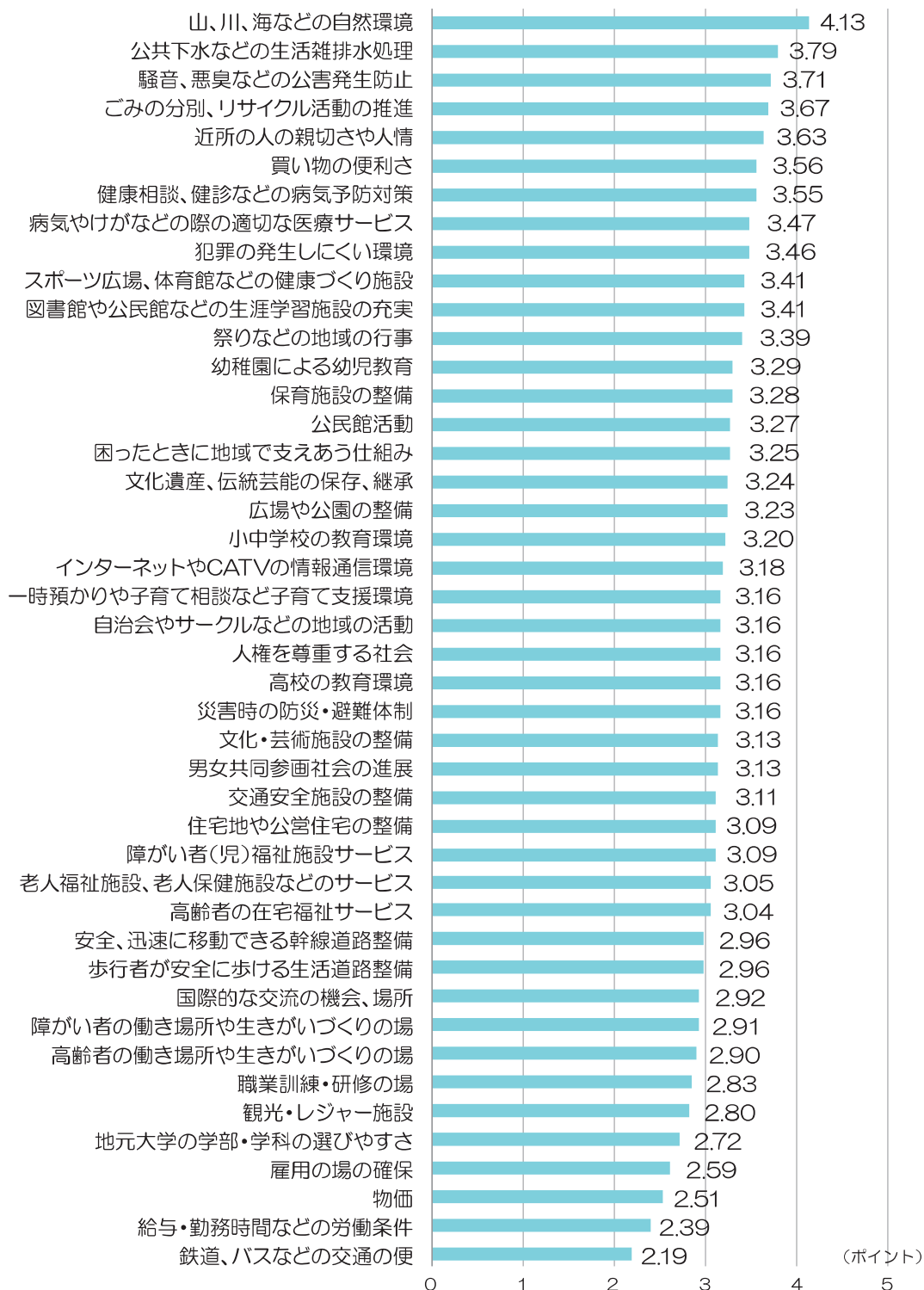
年代別に見ると、「海・山・川などの恵まれた自然環境」は、子育て中の方がやや高く、また「安心して暮らせる住環境」は30代~40代がほかの年代に比べて低くなっています。



年齢別・子育て年齢別	海・山・川などの恵まれた自然環境	安心して暮らせる住環境
全体	71.2%	55.8%
10代	56.0%	60.0%
20代	64.2%	56.0%
30代	75.6%	50.8%
40代	69.6%	50.4%
50代	70.6%	56.8%
60代	75.3%	61.1%
70代以上	71.2%	55.6%
小学生以上を子育てしている	76.9%	57.3%
就学前児童を子育てしている	77.9%	53.4%

②地域の住みやすさの満足度

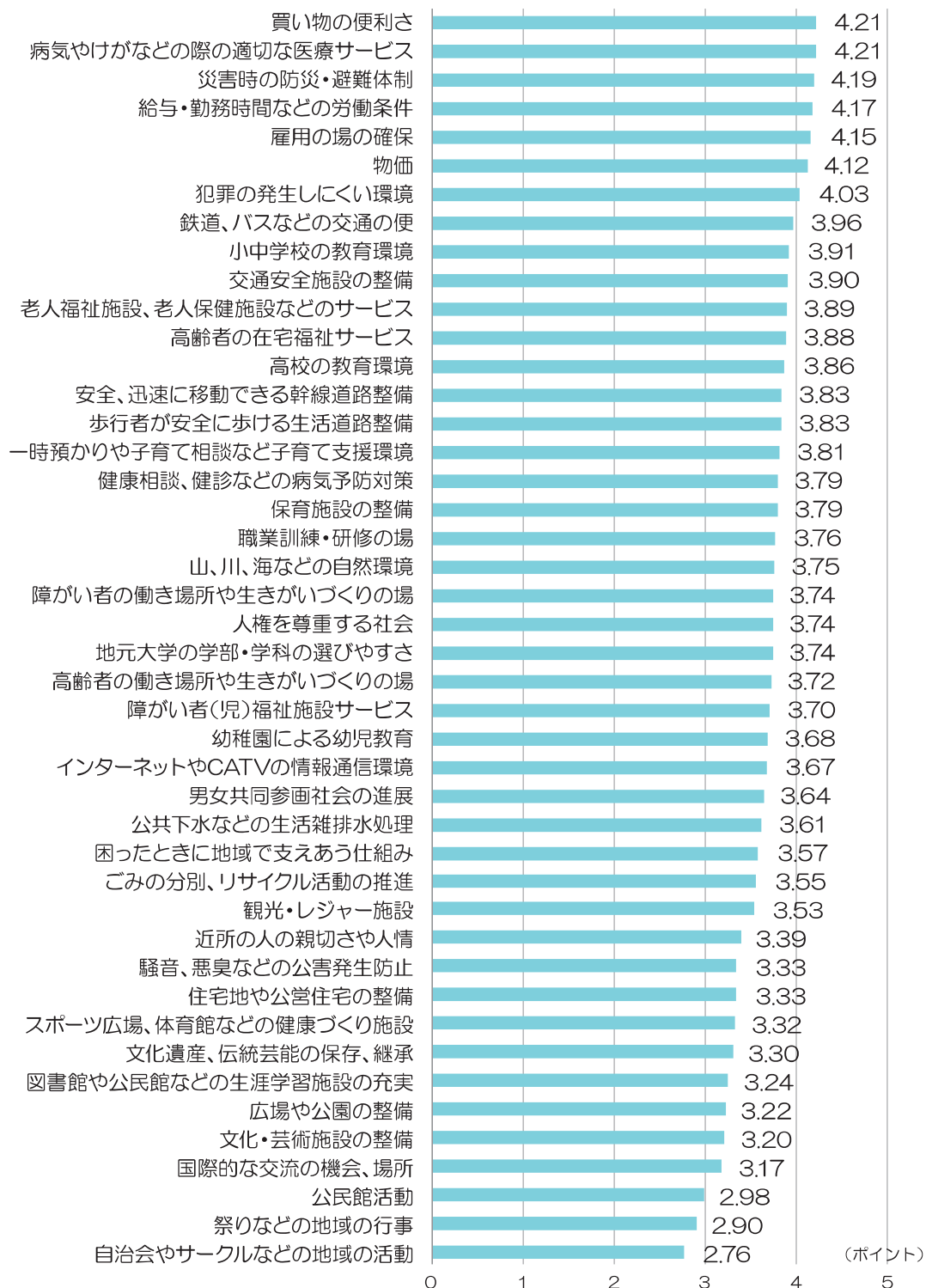
自然環境に関する満足度が最も高く、次いで公共下水、騒音・悪臭、ごみ・リサイクルなど衛生・生活環境に関する満足度が高くなっています。



※「満足」を5点、「やや満足」を4点、「やや不満」を2点、「不満」を1点、「わからない」を3点とし、それぞれの回答数と掛けた合計を全体回答数で割って得点化

③まちづくりの重要度

買い物の利便性と医療サービスに関する重要度が同率で最も高く、次いで災害時対応に関する重要度が高くなっています。



※「重要度が高い」を5点、「重要度がやや高い」を4点、「重要度はやや低い」を2点、「重要度は低い」を1点、「わからない」を3点とし、それぞれの回答数と掛けた合計を全体回答数で割って得点化

数値目標一覧

まちづくりの目標1 未来を創る人材を育み、ひとりひとりが活躍するまち					
政策1 こども					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
結婚・出産・子育て支援	1	鳥取市の合計特殊出生率	一人の女性が一生に産むこどもの平均数として算出された当該年の人口統計上の数値	1.31 (R6)	1.60 (R12)
	2	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、現在子育てをしている方が「子育てしやすい環境」と回答した市民の割合(%)	55.1 (R6)	60.0 (R11)
政策2 教育・スポーツ					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
教育の充実・郷土愛の醸成	3	「学校が楽しい」と思う児童生徒の割合	当該年度実施の鳥取市共通10項目アンケート調査で「学校が楽しい」の質問に「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合(%)	小学校:89.4 中学校:89.5 (R6)	小学校:92.5 中学校:92.5 (R12)
	4	「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童生徒の割合	当該年度実施の全国学力・学習状況調査で「地域や社会のために何かしてみたいと思いますか」の質問に「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合(%)	小学校:83.3 中学校:79.7 (R6)	小学校:88.0 中学校:84.0 (R12)
生涯学習の推進	5	麒麟のまちアカデミー参加者の満足度	麒麟のまちアカデミーに参加した受講生の満足度(%)	88.0 (R6)	93.0 (R12)
	6	市民1人当たりの図書貸出冊数	市民が年間に貸出利用をする1人当たりの冊数(冊)	4.4 (R6)	5.2 (R12)
スポーツ・レクリエーションの振興	7	市民スポーツ大会の延べ参加校数	市民スポーツ大会の各種目に参加した校数の合計(校数)	343 (R6)	350 (R12)
	8	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校開放事業における学校体育館等の延べスポーツ利用者数(人)	830,669 (R6)	900,000 (R12)

まちづくりの目標2 誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

政策1 福祉					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
社会保障制度の運営	9	就労支援事業、就労準備支援事業への参加率	就労支援促進計画の実績評価にかかる事業参加率(%)	47.7 (R6)	50.0 (R12)
	10	ジェネリック医薬品*普及率	鳥取市国民健康保険における薬剤に占める当該年度のジェネリック医薬品*(後発医薬品)薬剤の数量ベースによる普及割合(%)	85.0 (R6)	90.0 (R12)

基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
社会保障制度の運営	11	新規要支援・要介護認定者の平均年齢	地域包括ケア「見える化」システムで計算された要支援・要介護認定の初回認定者の平均年齢（歳）	82.3 (R5)	82.5 (R11)
超高齢社会*に向けたまちづくりの推進	12	今の生活に満足している高齢者の割合	ニーズ調査の質問項目において満足していると回答した人の割合（%）	77.7 (R4)	80.0 (R10)
障がいのある人の自立支援	13	障害福祉サービス等利用者数	本市が支給決定した障害福祉サービス等を1月平均で利用している人数（人）	3,657 (R6)	4,180 (R12)
	14	障害児通所支援利用者数	本市が支給決定した障害児通所支援を1月平均で利用している人数（人）	687 (R6)	920 (R12)
政策2 保健・医療					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
健康づくり・疾病予防・介護予防の推進	15	健康寿命*(65歳以上の平均自立期間)	当該年度の日常生活動作が自立している（要介護度2未満）期間の平均（年）	男性17.74 女性20.94 (R5)	男性18.05 女性21.27 (R11)
保健衛生の推進と医療の確保	16	救急搬送人員に占める軽症患者の割合	救急搬送人員に占める軽症患者の割合（%）	35.4 (R6)	25.0 (R12)
	17	保護収容動物の返還及び譲渡率	放浪している犬猫の飼い主への返還及び飼い主のいない犬猫の譲渡割合（%）	68.4 (R2~R6平均)	70.0以上 (R12)
政策3 人権・共生・協働					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
人権尊重社会の形成	18	人権市民集会参加者の満足度	当該年度実施のアンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した割合（%）	82.7 (R6)	85.0 (R12)
	19	「人権が尊重されているまち」と思う市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合（%）	36.2 (R6)	50.0 (R11)
男女共同参画社会の形成	20	「男は仕事、女は家庭」という考えに反対する市民の割合	男女共同参画に関する意識調査で「男は仕事、女は家庭」という考え（固定的な性別役割分担意識）に、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した市民の割合（%）	59.6 (R6)	70.0 (R11)
	21	市の審議会等における女性委員の割合	市の審議会等における女性委員の割合（%）	31.1 (R6)	40.0 (R12)
地域福祉の推進	22	福祉ネットワーク機能が確立された地区数	地域組織、福祉関係者等により地区の支え合い活動を支援する福祉ネットワークが確立された地区数（地区）	未実施 (R6)	5 (R12)
	23	困ったときに地域で支え合う仕組みの市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合（%）	44.7 (R6)	50.0 (R11)

基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
多文化共生のまちづくりの推進	24	外国人住民を含む市民を対象とした講座への参加者数	外国人住民と日本人住民を対象にした講座の参加者数合計(人)	48 (R6)	72 (R12)
協働のまちづくりの推進	25	地域活動に参加したい市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で「今後、地域の活動へ参加したい」と回答した市民の割合(%)	63.6 (R6)	70.0 (R11)
	26	近所づきあいがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査で「近所付き合いがある」と回答した市民の割合(%)	67.6 (R6)	70.0 (R11)

まちづくりの目標3 ひと、もの、ことが行きかい、にぎわいあふれるまち

政策1 商工業・農林水産業

基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
経営基盤の強化と雇用の創造・人材確保	27	就業者1人当たりの市内GDP	就業者1人当たりの当該年度の市町村内総生産(名目)の本市の値(千円)	6,516 (R4)	7,338 (R10)
	28	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学(学部卒)の全就職内定者のうち県内就職内定率(%)	21.4 (R6)	27.3 (R12)
工業の振興	29	市内製造品出荷額等	当該年の経済構造実態調査(経済産業省)による製造品出荷額等の本市の値(億円)	3,252 (R4)	3,580 (R10)
	30	企業誘致件数	本市が5年間で誘致する企業件数の累計(件)	4 (R6)	25 (R8~R12累計)
商業の振興と販路拡大	31	市内事業所数	当該年の経済センサス(基礎)調査における事業所数の本市の値(件)	7,449 (R6)	維持 (R11)
	32	鳥取市公設地方卸売市場取扱高	当該年度の鳥取市公設地方卸売市場取扱高(百万円)	7,462 (R6)	7,610 (R12)
農林水産業の振興	33	市内の農業産出額	農林水産省が生産農業所得により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値(億円)	142 (R5)	152 (R11)
	34	市内の素材生産量	生育する立木(樹木)の伐採後、用途に合った長さの丸太として生産された量(m ³)	78,400 (R5)	80,000 (R11)
	35	市内の漁獲量	当該年の海水面漁業の市内漁獲量(トン)	1,589 (R6)	1,589 (R12)

政策2 移住定住・関係人口*・観光					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
移住定住の推進 と関係人口*の 拡大	36	移住定住者数	相談登録をして移住された方、転入時のアンケートに回答し、移住者として把握できた方の合計（人）	508 (R6)	600 (R12)
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
滞在型観光の 推進	37	市内主要観光施設等 への延べ入込客数	市内の民間・公共が運営する主要な観光施設等の年間入込客数（人）	7,251,752 (R6)	7,696,000 (R12)
	38	市内宿泊者数	観光庁が公表する「宿泊統計調査」による年間の市内宿泊者数（人）	334,628 (R6)	354,000 (R12)
政策3 文化芸術・文化財					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
文化芸術による まちづくりの推進	39	文化芸術鑑賞者数	本市補助事業者等による当該年度の鑑賞者数（人）	53,882 (R6)	60,350 (R12)
文化財の保存・ 整備による「ま ちづくり」資産 の形成	40	指定・登録文化財の 数	国・県・市指定及び国登録文化財の数（件）	330 (R6)	336 (R12)
政策4 生活基盤・市街地・中山間地域・交通					
基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
生活基盤の充実	41	安全、迅速に移動で きる幹線道路整備の 市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合（％）	45.1 (R6)	50.0 (R11)
	42	住宅地や公営住宅の 整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合（％）	37.6 (R6)	40.0 (R11)
中心市街地の 活性化	43	中心市街地における 歩行者・自転車通行量	中心市街地内10地点の1日当たりの歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均値）（人）	17,629 (R6)	21,300 (R12)
魅力ある中山間 地域の振興	44	買い物環境確保率	買い物困難調査において買い物環境（店舗・移動販売）が確保されている地域の割合（％）	100 (R6)	100 (R12)
	45	地域おこし協力隊*及 び地域プロジェクト マネージャー*配置数	地域おこし協力隊*または地域プロジェクトマネージャー*を地域に配置した人数（人）	6 (R6)	8 (R12)

基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
交通ネットワークの充実	46	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合(%)	20.4 (R6)	25.0 (R11)
	47	鉄道、バスなどの公共交通の利用者の減少抑制	当該年度の鉄道及びバス利用者数。市内各駅乗車人員数及び市内乗車人員数の減少を抑制する(年0.5%以内)(万人)	599 (R6)	581 (R12)

まちづくりの目標4 豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち

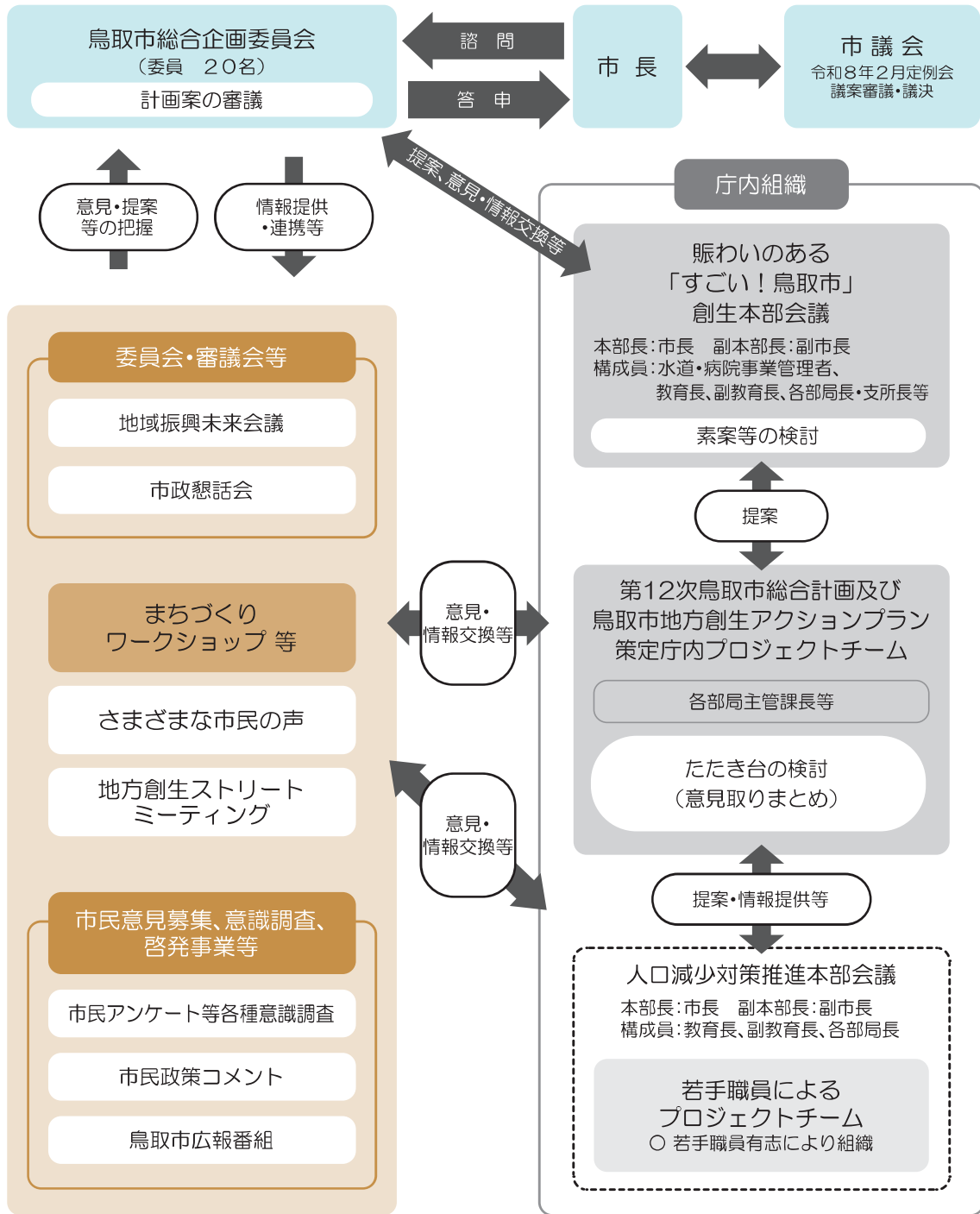
政策1 防災・防犯

基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
地域防災力の向上	48	防災リーダー*認定者数	防災リーダー*認定者数(人)	776 (R6)	1,046 (R12)
	49	鳥取市防災アプリダウンロード数	鳥取市防災アプリのダウンロード数(DL)	13,647 (R6)	30,177 (R12)
防犯・交通安全対策の充実	50	鳥取市内犯罪認知件数	当該年における市内の犯罪認知件数(件)	789 (R6)	760 (R12)
	51	鳥取市内の交通事故発生件数	当該年における市内の交通事故発生件数(件)	226 (R6)	200 (R12)
安全・安心な消費生活の確保	52	県全体の消費生活相談件数に占める受付件数(相談分担率)	県全体で受け付けた市民からの消費生活相談件数のうち、市消費生活センターで受け付けた割合(%)	68.1 (R6)	71.5 (R12)
	53	消費者啓発事業(出前講座・講演会、情報発信など)の実施回数	地域や団体等からの依頼を受けて実施する出前講座・講演会、情報発信などの啓発事業の実施回数(回)	79 (R6)	83 (R12)

政策2 環境

基本施策	No.	指標	指標の説明	現状値	目標値
循環型社会の形成	54	鳥取市のCO ₂ 削減率	2013年度比のCO ₂ 排出量(確定値)の削減率(%)	△17.7 (R3)	△28.1 (R9)
	55	鳥取市の年間ごみ総排出量	市内の家庭及び事業所から排出されるごみの総排出量(トン)	52,745 (R6)	50,137 (R12)
環境保全活動の推進	56	自然共生サイトへの登録件数	自然共生サイトへの登録件数の累計(件)	0 (R6)	2 (R8~R12累計)
	57	環境教育講座の実施回数	実施した環境教育講座の回数(回)	9 (R6)	12 (R12)

策定組織体制概念図



鳥取市総合企画委員会への諮問

発企政第196号
令和6年5月29日

鳥取市総合企画委員会委員長 様

鳥取市長 深澤 義彦

次期鳥取市総合計画について(諮問)

本市の総合的なまちづくりの指針となる次期鳥取市総合計画について、鳥取市総合企画委員会条例（昭和28年鳥取市条例第15号）第2条の規定に基づき、貴委員会の意見を求めます。

鳥取市総合企画委員会からの答申

令和7年11月26日

鳥取市長 深澤義彦 様

鳥取市総合企画委員会
委員長 林 由紀子

第12次鳥取市総合計画について(答申)

令和6年5月29日付け発企政第196号をもって諮問のあった、第12次鳥取市総合計画について、別添計画書（案）のとおり答申します。

なお、計画決定後においては、広く市民に計画を周知するとともに、計画の進行管理体制を整え、市民と一体となって計画の達成に向かって努力されるよう要望します。

鳥取市総合企画委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

	分野	氏名		所属団体等
1	住民団体		石本 昭雄	鳥取市自治連合会 監事
2	子育て		大橋 祥子	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク
3	青年団体		岡 大輔	鳥取県東部中小企業青年中央会 直前会長
4	新市域		奥谷 仁美	河原地域
5	定住		尾坂 亮	U・J・Iターン移住者
6	観光		岸本 夕子	鳥取市観光コンベンション協会 理事
7	新市域		久野 壯	気高地域
8	文化		佐分利 育代	鳥取市文化団体協議会 理事
9	医療		下田 敏美	鳥取県東部医師会 事務局長
10	金融		竹本 哲哉	鳥取銀行 常務執行役員ふるさと 振興本部長
11	国際交流		田中 丈士	タイム(とっとり国際交流連絡会) 事務局長
12	農業		田中 利明	鳥取いなば農業協同組合 参事
13	福祉	委員長	林 由紀子	鳥取市社会福祉協議会 会長
14	商工	副委員長	平井 耕司	鳥取商工会議所 会頭
15	新市域		前岡 美華子	国府地域
16	報道		山崎 昌史	新日本海新聞社 営業局次長
17	労働団体		山下 浩二	連合鳥取東部地域協議会 事務局長
18	女性団体		山根 滋子	鳥取市連合婦人会 常任委員
19	学術		吉田 高文	公立鳥取環境大学 経営学部長
20	教育		米田 恵子	元小学校長

•委員任期:令和8年4月30日まで

(令和8年3月31日時点)

鳥取市総合企画委員会の審議経過

	開催日	主な審議内容
1	令和6年5月29日	<ul style="list-style-type: none"> 第12次鳥取市総合計画の諮問 第12次鳥取市総合計画及び総合戦略の策定について 市民アンケート調査の実施
2	令和6年8月16日 ～8月30日	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市の課題、強み、未来の姿とその実現に向けた取組について
3	令和6年10月23日	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート調査等の結果速報 鳥取市人口ビジョン策定に向けた基礎資料 鳥取市の現状、課題、将来のすがた 今後のスケジュール
4	令和7年1月9日	<ul style="list-style-type: none"> 第11次鳥取市総合計画中間評価 第12次鳥取市総合計画骨子(たたき台)
5	令和7年4月15日	<ul style="list-style-type: none"> 第12次鳥取市総合計画基本構想(たたき台) 鳥取市人口ビジョン(改訂案たたき台) 第12次鳥取市総合計画基本計画の概要 第3期鳥取市創生総合戦略の概要
6	令和7年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> 第12次鳥取市総合計画基本構想(案) 鳥取市人口ビジョン(改訂案) 第12次鳥取市総合計画基本計画(素案) 鳥取市地方創生アクションプラン(素案)
7	令和7年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> 第12次鳥取市総合計画(答申案) 鳥取市地方創生アクションプラン(案)
	開催日	主な審議内容
答申	令和7年11月26日	<ul style="list-style-type: none"> 第12次鳥取市総合計画(案)の答申

市民参画等事業一覧

区分	概要	実施期間等
鳥取市 総合企画委員会	第12次鳥取市総合計画及び鳥取市地方創生アクションプランの策定に向け、その施策等について審議。	令和6年5月29日 ～令和7年11月25日
鳥取市民 アンケート 調査	本市の住民登録者の中から15歳以上の男女4,000人を無作為抽出。「住みやすさの満足度」、「若者定住対策」、「子育てしやすい環境に必要なこと」などまちづくりに関するアンケート調査を実施。 ・回答数：1,800件 ・回答率：45.0%	令和6年7月10日 ～8月12日
高校生・大学生 アンケート 調査	市内の高校生・大学生を対象に、進路意向、将来の定住意向や鳥取市との関わり方等に関するアンケート調査を実施。 ・回答数：高校生401件、大学生222件	令和6年7月
まちづくり ワークショップ	市民や市役所若手職員等によるワークショップを実施。 ①鳥取市の未来についてみんなで考えよう！ （出席者：40人） ②移住者にとっても暮らしやすい「鳥取市の未来」 （出席者：27人） ③子育てするなら鳥取市！編（出席者：21人） ④鳥取の明るい未来を切り拓く若者編（出席者：10人）	①令和6年7月21日 ②令和6年9月8日 ③令和6年9月29日 ④令和6年10月26日
地方創生 ストリート ミーティング	市長と市民等が対話形式で意見交換を実施。 [令和6年度] ①県外で活躍している学生のこえを聞こう ～鳥取市出身学生編～（出席者：8人） ②県外で活躍している若者のこえを聞こう ～鳥取市出身社会人編～（出席者：6人） ③デジタル技術を活用し、鳥取市で充実した生活を送ろう（出席者：10人） ④鳥取で暮らす外国人編（出席者：6人） ⑤農林水産業編（出席者：9人） [令和7年度] ⑥働く女性・大学生編～若者や女性に選ばれる地域になるために～（出席者：8人）	①令和6年8月22日 ②令和6年8月28日 ③令和6年9月19日 ④令和6年11月21日 ⑤令和6年11月27日 ⑥令和7年10月22日
地域振興 未来会議	第12次鳥取市総合計画及び鳥取市地方創生アクションプランの概要等について説明し、意見を聴取。	令和7年6月26日 ～8月27日